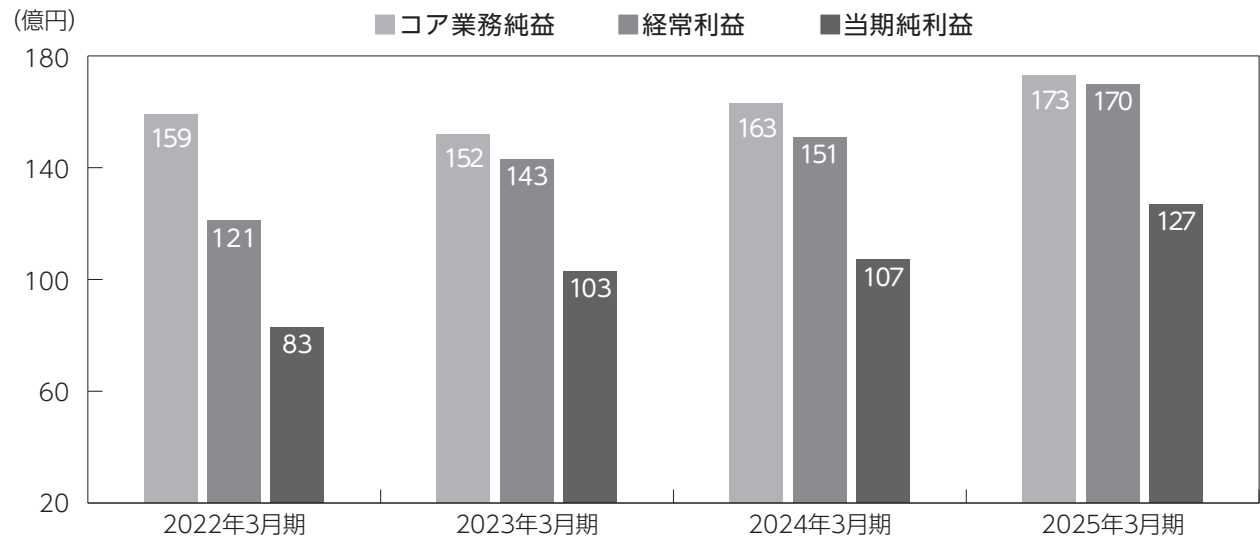


単体及び連結決算の状況(営業の概況)

単体決算

2025年3月期(2024年度)の損益状況

(1) 主要損益の推移



(2) 損益状況等

(単位: 百万円)

	2025年3月期	前年比	2024年3月期
業務粗利益	51,097	2,038	49,058
資金利益	45,922	2,746	43,175
役務取引等利益	10,557	998	9,558
その他業務利益	△5,382	△1,706	△3,675
うち債券関係損益(5勘定戻)	△1,470	292	△1,762
経費(除く臨時処理分)(△)	35,262	816	34,446
実質業務純益	15,834	1,222	14,612
コア業務純益 ……①	17,304	930	16,374
除く投資信託解約損益	16,111	1,133	14,978
一般貸倒引当金繰入額(△)	△464	2,513	△2,978
株式関係損益(3勘定戻)	1,318	227	1,090
不良債権処理費用(△)	2,719	△1,429	4,148
償却債権取立益	721	89	631
その他臨時損益	1,479	1,478	1
経常利益 ……②	17,097	1,932	15,165
特別損益	△18	10	△29
税引前当期純利益	17,078	1,942	15,135
法人税等合計(△)	4,309	△78	4,388
当期純利益 ……③	12,769	2,021	10,747
自己資本比率(%)	12.64	2.81	9.83
(参考) 与信関係費用(△)	1,533	994	538

- ①国内外の金利上昇を背景とし、貸出金利息や有価証券利息配当金を主因とした資金利益が増加したこと、及び役務取引等利益が法人・個人関連ともに増加したこと等から、コア業務純益は前年比9億30百万円増加し173億4百万円となりました。
- ②経常利益は、株式関係損益の改善や退職給付費用の減少などもあり、前年比19億32百万円増加し170億97百万円となりました。
- ③当期純利益は、経常利益の増加に加え、有税引当金の無税化などにより法人税等が減少したことから、前年比20億21百万円増加の127億69百万円となりました。

主要勘定等の状況

(単位: 億円、%)

	2025年3月末	2024年3月末	前年度末比増加額	前年度末比増加率
貸出金	41,264	40,067	1,197	2.9
うち事業性貸出	22,801	22,251	550	2.4
うち非事業性貸出	16,422	15,794	628	3.9
預金等(譲渡性含む)	50,936	50,277	658	1.3
預り資産(投信等)	7,219	6,981	237	3.4
(預金等+預り資産)	58,155	57,258	896	1.5

- 貸出金残高は、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年度末比1,197億円(年率2.9%)増加し、4兆1,264億円となりました。
 - 預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年度末比658億円(年率1.3%)増加し、5兆936億円となりました。
 - 預り資産残高は、前年度末比3.4%増加し、預金等との合算では前年度末比1.5%の増加となりました。
- なお、預り資産のうち生命保険は、2024年9月末より「販売累計額」から「有効契約残高」に変更しております。過去についても遡って変更しております。